

排出ガス不正事案を受けたディーゼル乗用車等検査方法見直し検討会（第5回）
議事要旨

1. 日時：平成29年2月1日（水）10時00分～12時00分

2. 場所：中央合同庁舎5号館 環境省第1会議室

3. 出席者：

委員：大聖委員長、飯田委員、石田委員、河合委員、草鹿委員、塩路委員、土屋委員、山崎委員

国土交通省：島自動車局次長、西本環境政策課長、柳田地球温暖化対策室長他

環境省：高橋水・大気環境局長、早水大臣官房審議官、田路環境管理技術室長他

4. 議事：

- (1) 保護制御ガイドライン（案）について
- (2) 路上走行検査方法（案）について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

5. 議事要旨：

会議は公開で行われた。事務局より、議事(1)～(3)について説明を行い、検討方針について委員の了承を得た。議事(1)について、以下のとおり意見が出た。

- ・ 高負荷時の条件について、高速道路本線への合流等、出現頻度は低いと考えられることから、このような状況下においても排出ガスを増加させないように、継続時間を考慮する必要があるのではないか。
- ・ 冷却水温度の条件について、オーバーヒート警告灯が点灯する温度を参考としてはどうか。
- ・ 高外気温時の条件について、低気圧時の条件である90kPaにおける吸入酸素量の減少と同様に考えると、35℃よりも高くてもよいのではないか。

以上